

鉄道荷物輸送サービス「はこビュン」を活用した 観光×物流×交通の一体モデル検討事業

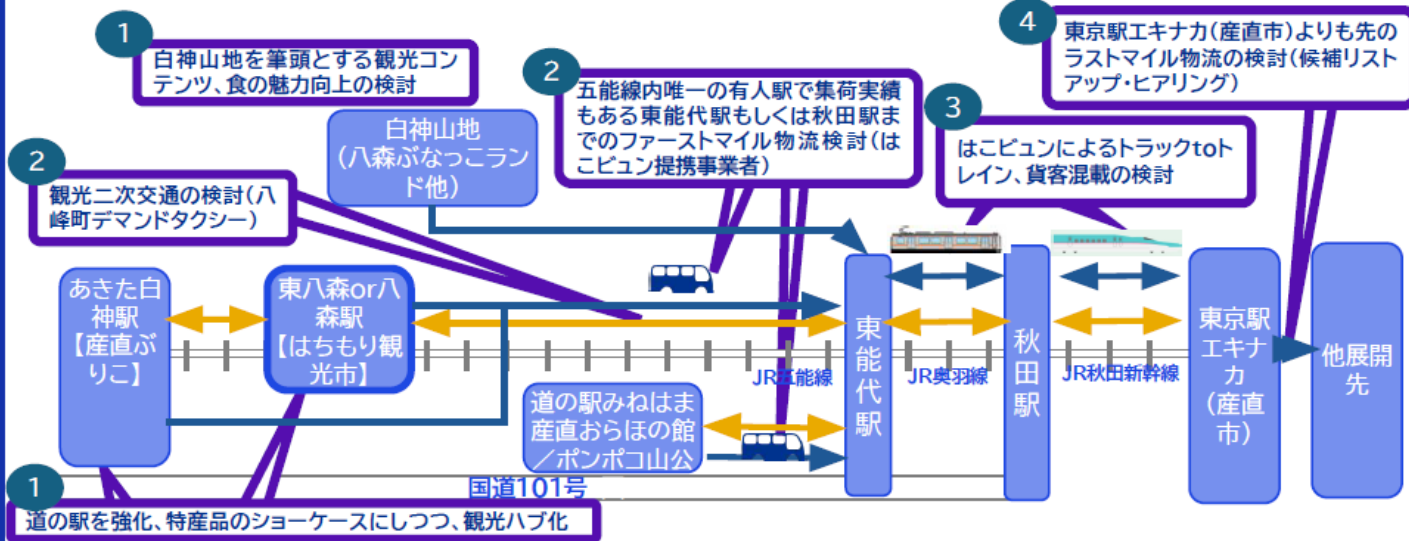
協議会名: 八峰町モーダルシフト推進協議会

協議会構成員
レンチナス奥羽伊勢株式会社、八峰町、東日本旅客鉄道株式会社
秋田支社

【事業実施背景】八峰町では、人口減少・高齢化が進む中、菌床しいたけ等の特産品の販路拡大と交流人口増加が課題。首都圏向け輸送は時間を要し、農産物の鮮度維持・品質確保に課題がある。また、観光客の町内回遊を支える観光二次交通の活用も十分ではない。そこで、鉄道輸送と地域交通を組み合わせ、物流・観光・交通を一体的に再構築するモデルを検討する。

事業内容

- Point
- 「観光×物流×交通の一体的モデル構築」に向け、以下を検討する。
 - ① 観光コンテンツ、食の魅力向上の検討、道の駅連携
 - ② ファーストマイル※1物流、観光二次交通との連動検討
 - ③ 「はこビュン※2」によるトラックtoトレインの検討
 - ④ ラストマイル物流の検討(候補リストアップ・ヒアリング)



想定事業実施効果

「特産品物流・観光・地域交通の一体的なモデル構築」により想定される効果としては以下を想定。

目指す姿	目標および効果算定方法
①交流人口増大	町外からの来訪者数増大
②町の観光関連収入増大(特産品含む)	町内における特産品等の消費額増大
③観光二次交通へのアクセス性向上による来訪者QOL改善	来訪者の観光二次交通利用実績
④取扱旅客数・物流量増大による物流事業者の事業拡大・町内の沿線開発への余力	はこビュンによる輸送実績増大
⑤八峰町の魅力度向上、来訪検討者数増加	モーダルシフトにおける再エネルギー活用
⑥特産品売上拡大	八峰町の認知力・ブランド力向上
⑦事業のレジリエンス・低炭素化推進	販売先の拡大

※ 1:ファーストマイル:生産地・出荷地から駅などの輸送拠点までの最初の輸送区間。
※ 2:はこビュン:JR東日本グループが展開する、列車を活用した荷物輸送サービス。